

令和7年度「地域課題の解決に向けた協働推進事業」実施結果

(事業名)

ウェルビーイングな地域づくりのための職域の健康経営研究・実践モデル事業

実施主体

(団体名) 国立大学法人鹿屋体育大学

(担当課名) 大隅地域振興局総務企画部総務企画課



背景

少子高齢化に伴う人口減少が進む中、地域の活力を維持するためには、現在地域を支えている各世代が、健康で、少しでも長く地域社会の担い手として活躍できる取組が必要となっている。

一方で、企業においては、従業員の健康増進の取組が、企業の稼ぐ力の向上に繋がるという考えのもと、健康管理を経営的な視点から考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組が促進されている。

地域課題

大隅地域においても、少子高齢化に伴う人口減少が進行する中、地域の担い手が、少しでも長く、健康に活躍できる取組が必要である。

併せて、その地域に事業所を構える企業の健康経営を促進し、地域と職域の健康づくりの取組を連携させ、地域における企業との関係性を強化することで、地域の維持・活性化を図る必要がある。

事業のねらい

職域の健康課題を把握し、それを踏まえた健康づくりの実践や健康づくりを推進する人材育成を支援し、職域の健康経営を推進する。また、この取組を地域コミュニティに広げることにより、地域コミュニティの活性化と地域経済の活性化を促進し、地域のウェルビーイングの向上を図る。

事業概要

1 地域・職域の健康経営事業

垂水市漁業協同組合員・職員の健康課題、働く環境、働き方を把握し、それに応じた健康運動プログラムを作成する。プログラムに添って健康運動教室を12回(垂水市漁業協同組合事務所6回、協和地区公民館6回)実施し、垂水市漁業協同組合員・職員の健康づくりを支援するとともに健康運動プログラムを推進する人材を育成する。



2 地域・職域の交流事業

協和地区住民主体の地域・職域交流イベントを企画し、2回開催する。



成果

垂水市協和地区住民および職域(垂水市漁業協同組合関係者)を対象に健康課題を把握し、その結果に基づき、短時間で実践しやすいコンディショニング運動プログラムを開発・提供した。

また、定期的な動画配信や対面での運動指導により、従業員および地域住民の運動習慣形成への動機づけが高まり、職域・地域における健康経営を推進するための基盤が整備された。

そして、ニュースポーツ大会や健康ウォーキングなど地域交流イベントを開催し、延べ113名が参加し、地域のイベント等に、職域(垂水市漁業協同組合関係者)が参加するなど、地域コミュニティの活性化が進んだ。



協働の状況

- 総括・プログラムの作成/指導・伴走支援
(国立大学法人鹿屋体育大学)
- 関連団体との調整・伴走支援
(大隅地域振興局総務企画課)
- プログラムの指導・伴走支援
(NPO法人ウェルスポ鹿屋)

今後の取組

本事業で実施した垂水市協和地区については、次年度にむけての関係構築が図られ、引き続き地域連携での健康経営の取組が継続できるように垂水市とともに伴走支援を行う。協和町内会からは次年度以降、町内会からの事業委託が出来ないか検討を始めるとのことであった。

また、本モデル事業の成果を情報発信するとともに、同様の地域課題を持つ地域や健康経営に取り組みたい事業所への横展開を働きかける。



協働事業の感想

団体からの声

週1回の運動指導を通じて、忙しい働き世代でも無理なく体を動かす機会が確保され、継続的な運動習慣へのきっかけづくりになったのではないかと感じる。

また、働く仲間、地域の仲間が共に取り組むことで交流も生まれた。

一方で、第一次産業に充実する働き世代が業務内容や時間などの要因により運動習慣化が進みづらい課題も見えた事業であったと思う。

担当課からの声

職域ごとに適した運動・ストレッチは異なるため、鹿屋体育大学などの専門機関と連携することで健康経営の充実が図られたと考える。

また、本事業を契機に職域と地域の交流がさらに深まり、今後更なる連携の実現が期待される。

そして、本事業を通して、漁業・協和地区だけではなく、他業種・他地域にも展開できる健康経営モデルができたのではないかと考える。